

アンケートについて

■アンケートの種類

①利用者アンケート調査（対面式）

- ・年間2回以上（春と秋の行楽シーズンを含む）実施。

②イベントアンケート調査（対面式）

- ・年間を通じて四季イベントや花イベントなどに係るアンケートを実施。
例：桜、チューリップ、ポピー、ローズ、螢、あじさい、早朝観蓮会&象鼻杯、ひまわり、コスモス、紅葉、梅、夏期・冬季夜間集客イベント など

③来園者数調査

- ・外国人来園者数調査、年齢層別来園者数調査、EXPOCITYから自然文化園へ移動する来園者を対象とした来園者数調査を年間2回（春と秋の行楽シーズン）実施。

④外国人来園者意識調査（対面式）

- ・万博記念公園に来園されている外国人を対象に公園の魅力や満足度などの調査を年間2回（春と秋の行楽シーズン）実施。
（府施策である訪日外国人増加措置の一環として実施）

■課題

- ・イベントアンケートは例年、同様の結果となっており、実施効果に疑問がある。
- ・来園者数調査は目視による調査のため、正確性に疑問がある。

■今後の方針（案）

- ・イベントアンケートについて、一定の評価を受けている四季イベント・花イベントのアンケートは一部取りやめ、公園の課題解決につながるアンケートへ切り替える。
（利用率の低い施設のニーズ調査など）
- ・来園者数調査の調査方法について、現状の目視による調査ではなく、より精度の高い手法を検討する。
- ・各種アンケートの実施にあたっては、特性に応じてネットリサーチの活用も検討する。
⇒指定管理者と調整のうえ、R1秋から、順次実施していく。

■アンケート結果について

①利用者アンケート調査（R1 春）

- 属性：万博近郊が約5割。
- 来園：「初めて」「季節ごと」「年に1～2回」が多い。
- 同伴者：家族での来園が約5割。
- 来園手段：「モノレール」「自家用車」がともに4割強。
- 来園時間：約7割が午前中に来園。
- 情報源：「HP」が約4割。
- 目的：「イベント参加」が約4割。「子どもを遊ばせるため」が約3割。
- イベント：「納涼祭り」「食のイベント」の希望が多い。
- 希望施設：「喫茶店・カフェ」「雰囲気の良い休憩所」など休憩できる施設の希望が多い。
- 施設評価：売店レストランの食関係、よく使われているトイレは評価が低い。
- サービス：「洋式トイレの増設」の要望が最多。「平日のイベント」も多い。

②イベントアンケート調査（ローズフェスタ、R1）

- 属性：万博近郊が約4割。
- 同伴者：家族連れや、50代以上の夫婦が多い。
- 来園時間：10時台が3割で最多、午前中に約6割が来園。
- 情報源：10代～50代は「HP」、60代以上は「以前から知っていた」が多い。
- 他の利用：6割が他のバラ園に行ったことがある。「中之島バラ園」が多い。
- 比較評価：良い評価が6割。
- 個別評価：どれも8～9割が良い評価。
- 催し物：「楽器の演奏会」の希望が4割。
- 魅力向上：「品種・本数を増やす」が多い。

③来園者数調査

○来園者数調査

- 来園者は30代が約2.5割最多。
日本庭園は50代以上が6～7割を占める。

○外国人来園者数調査

- 入園は、中央口からが約7割。日本庭園正門からは1割弱。
- 外国人の来園は全体の1%程度。

○EXPOCITYから自然文化園への来園者数調査

- 平日10時台から12時台、休日は12時台が多い。

④外国人来園者意識調査

属性：香港、中国、台湾、アメリカ、マレーシア、インドネシア、カナダ など。

来園目的：「太陽の塔」が約3割。次いで、「自然に触れるため」が約3割。

情報源：「家族・友人・知人の話」が約5割。HPが約3割。「SNS」は約1割。

Wi-Fi：「花スポット」、「無料休憩所」への設置希望が多い。

評価：約9割が「良い」評価。

魅力向上：「飲食」、「移動手段」、「案内板・ガイド」、「トイレ関連」、「花・樹木」、「休憩スペース」、「お土産」に関する要望が多かった。